

令和3年9月22日

桑折町議会
議長 片平 秀雄 様

総務文教常任委員会
委員長 斉藤 謙

委員会調査報告書

本委員会に付託された調査事件について、調査報告を下記のとおり、会議規則第77条の規定により報告します。

記

1 調査事件

人口減少時代下における行財政運営管理のあり方について

2 調査目的

人口減少時代下における健全な財政運営を図るため

3 調査の経過

□令和2年4月14日

調査事件の今後の進め方について、協議・検討を行った。

□令和2年4月23日

調査事件について、総合政策課長の出席を求め、「行政改革の取り組み状況」について質疑応答を行い、今後の進め方について、協議・検討を行った。

□令和2年7月16日、7月28日

調査事件の今後の進め方について、協議・検討を行った。

□令和2年8月18日

調査事件について、経常収支比率・財務4表・行財政運営の実態把握と課題の整理を行った。

□令和2年9月1日、10月1日

平成27年に出された「桑折町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」及び「桑折町まち・ひと・しごと創生総合戦略」について、委員各々の分析結果をもとに意見交換を行った。

□令和2年10月13日、10月27日

平成27年に出された「桑折町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」について、委員各々の分析結果をもとに意見交換を行った。

□令和2年11月13日

生涯学習課長、生活環境課長、総務課長の出席を求め、令和2年度「町の事業と予算」記載の主な事業の進捗状況等について質疑応答を行った。

□令和2年11月19日

税務住民課長、こども教育課長、総合政策課長の出席を求め、令和2年度「町の事業と予算」記載の主な事業の進捗状況等について質疑応答を行った。

□令和3年1月19日

総合政策課長の出席を求め、総合計画の総括、リーサスの分析状況について質疑応答を行った。

□令和3年2月15日

令和3年度予算編成方針について、委員各々の分析結果をもとに意見交換を行った。

□令和3年4月27日、5月13日、5月25日

公会計財務4表について分析を行い、意見交換を行った。

□令和3年6月10日、7月6日、7月27日、8月17日、9月7日

調査事件の報告書の内容について協議を行った。

4 調査結果

現在、当町を含めた全国の自治体で人口減少局面に突入している。今後、生産年齢人口も減少し続けることによる労働力不足が危惧される状況を踏まえ、令和2年4月から調査してきた。

当町は、平成27年10月時点の「桑折町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」（初版）の中で、地域経済に与える影響として、人口減少による地域経済の規模、縮小、就業者数の減少、高齢化による農業の弱体化等が危惧されることを既に将来予測していた。

当委員会は、このような予測のもと、財政状況がどのように推移していくのか等を、決算カード、財務4表、人口ビジョン（初版）等に基づき、分析・調査・研究を実施してきたが、町民ニーズの多様化に対応していくためには「入りを量りて、出を制する」ことを、職員の認識強化と地方税等の徴収率アップに全職員で取り組む必要がある。

調査の結果として

1. 公共施設等の老朽化が進んでいること
2. 財政構造の硬直化が一段と高止まりになっていること

以上の2点が喫緊の課題として挙げられた。

このことから、公共施設等の老朽化対策として、計画的に維持補修を実施し、特に国土強靱化計画に基づく、長寿命化策を明確にした取り組みを講じること、また、決算カードの性質別歳出の状況を踏まえ、経常収支比率改善のためのガイダンスを明確にした取り組みを行う必要がある。

なお、今後において、今年9月に政府はデジタル庁を設置することになっているが、当町もICT導入に伴う変化を的確に捉え、業務の効率化・事務削減による人材の有効活用を積極的に進めていき、迅速かつ柔軟に町民一人ひとりに向き合う、そして、町民に寄り添う温かな行政運営を持続されたい。